



“仮想化”と“DirectAccess”という2つの標準的機能を活用し、業務形態を一変させるほどのインパクトあるシステム環境を実現

「やっぱり人だね」をキャッチフレーズに、地元・新潟に密着した総合人材サービス業を展開する株式会社キャリアステーション(以下、キャリアステーション)。人を財産として捉えた「人財」の活用を念頭に、新潟県内で有数のシェアを誇る同社では、「人財」情報管理の電子化を進めてきましたが、業務の拡大に伴い増え続けるデータに対応した拡張の必要性や、セキュリティの徹底に関する課題などを抱えていた。



株式会社キャリアステーション

平成3年7月、新潟市で創業し、現在では新潟市内の本社に加え、長岡営業所、上越営業所、新潟南オフィス、松崎事業所の 県内4店舗を構え、一般労働者派遣事業及び職業紹介(総合人材派遣サービス業)を展開する株式会社キャリアステーション(<http://www.career-st.com>)。新潟県に密着した人材サービスを提供することで、県内労働環境における需給調整の一端を担っています。2010年1月現在、約13,000人の求職登録者を擁し、多くの事業主の需要に応えています。

キャリアステーションは2009年、ハードウェアのリプレース時期を迎えたこともあって、OSを含めたサーバーの刷新を図ることとなった。しかし、IT投資にかかるコストは、できる限り抑えなければいけないことも、また事実。刷新にあたり求められたのは、データ格納量の向上に加えて、将来的な拡張にも柔軟に対応でき、さらに費用対効果に優れたアプローチであった。さらにもう1つ、同社が新しいIT投資に際して要望に挙げたのが、営業の現場で「人財」と企業の仲介を行う営業担当及びコーディネーターたちの業務効率を向上させるためのしくみである。ほぼ終日、外出して営業先を回っている営業担当及び、社内で営業アシスタント業務や求職者との調整を行う者にとって、ほんの少しでも早くデータベースにアクセスし、企業のニーズに則した「人財」を紹介することは、他社に先んじたスピードで市場を切り拓くこととなり、大きな業務改善につながる。

この要望を実現する上で、一番肝心なポイントがセキュリティの確保であり、投資コストも適正なものでなくてはならない。ファイルサーバーの更改という投資を控えつつ、ITによる新しい競争力確保までを、十分なセキュリティ対策の下で実現したいと考えたキャリアステーションでは、さまざまな可能性を検討した。そして選ばれたDell PowerEdge T410とWindows Server 2008 R2 + Vostro1520にWindows7を採用し、Hyper-VおよびDirect Accessという2つの標準機能を活用して、余分なコストを発生させることなく、先進の環境を活用することだった。そして、この2つの機能によって同社が実現したのが、「柔軟かつコストエフェクティブで、冗長かつ大容量なサーバー環境」と「外から社内環境へのセキュアなアクセスの実現」である。

やっぱり人だね。



長期的なITコスト削減まで見据えた柔軟なシステムとセキュアなリモートアクセス環境を

キャリアステーションでは、2006年にPower Edge 1400を導入し、従来紙ベースで行っていた県内の求職者情報管理を電子化し、大幅に効率化。しかし、その後の業務拡大に伴い、管理する情報量が激増、また、ハードウェアのリプレース時期が到来したこともあり、システム刷新の検討を開始した。システム刷新に際してのキャリアステーションの要望は2つ。1つは、長期的なITコスト削減まで見据えた柔軟なシステムであること。そしてもう1つが「社外からもセキュアに接続できるリモートアクセス環境の実現」である。同社 管理部 マネージャー 吉本英幸氏は言う。「営業担当は、常に外に出てお客様先を回っています。そこで、万全なセキュリティを保ちつつ社外からも、求職者情報にアクセスし、より迅速な提案が行えるしくみはないか、と考えました」。こうして、同社のシステム構築を支援するシステムインテグレーターと共に検討した結果「コストエフェクティブにすべての要件を満たす製品」として選ばれたのが、Power Edge T410とWindows 7だった。



株式会社キャリアステーション
管理部 マネージャー
吉本 英幸 氏

標準的な機能であるHyper-VとDirectAccess機能によって「将来の拡張にも耐えうるシステム」と「社外作業の飛躍的な効率化」が期待できる環境を実現できました。これらは、システムとして便利だというだけでなく、私たちの業務形態そのものを変えてしまうほどの可能性があると思います



株式会社キャリアステーション
営業一課 コーディネーター 主任
小林 あかね 氏

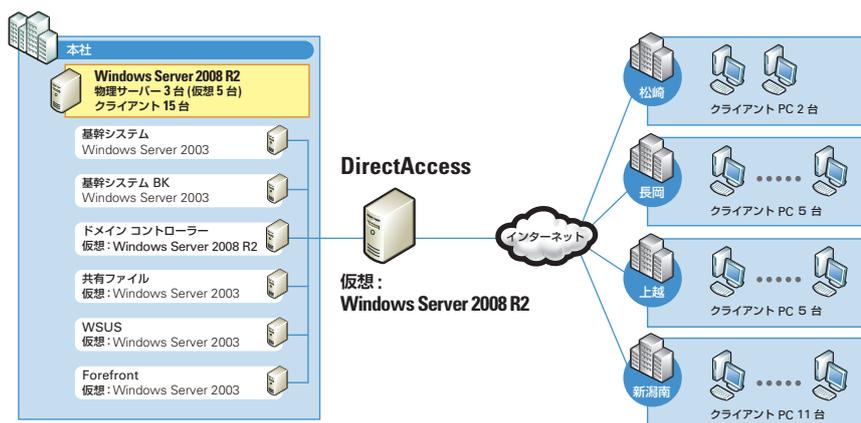
人材の需給決定では、わずか数分で手遅れになってしまうほどスピードが重要です。Windows 7とDirectAccessにより社外からのアクセスが可能となったことで、担当者の現場対応が大幅に迅速化されると期待しています。しかも、難しい操作もなくセキュリティが守られている安心感は大きなメリットです

「Hyper-V」と「DirectAccess」で特別な事前設定も高額な追加投資も不要

キャリアステーションがDell社製のサーバーとクライアントを選択した理由としては、「導入しやすい価格でありながら、要求性能を満たし、なおかつ、障害発生時のサポートも確実に提供されることを今迄の経験から実感していたから」。低コストでありながら多くの要求も満たそうという願いのもと、Dell社製のサーバー・クライアントとWindows Server 2008 R2・Windows 7の組み合わせは、同社にとって最適な選択となった。Hyper-Vを活用した仮想化によって、「長期的なコストメリットが見込める柔軟なシステム環境」が構築できると同時に、「DirectAccess」という標準機能を活用することで「Windows 7を搭載したPCから、社内システムへとセキュアにアクセスできる」リモートアクセス環境を実現した。このDirectAccess機能では、VPNを使用する必要なく、インターネットを介して安全かつシームレスに企業ネットワークに接続できる。標準プロトコルであるIPv6-over-IPsecを使用するため、特別な事前設定も不要。さらに、Windows 7とWindows Server 2008 R2のみで実現できるため、高額な追加投資の必要がない。

「DirectAccess」は簡単な操作でアクセスできると評価

吉本氏は、このシステム刷新によって「コスト削減」「運用効率の向上」そして「セキュリティの向上」が図れたとして、次のように話す。「必要なすべての機能が標準で提供されているため、導入時はもちろん、運用を含めた将来的なコスト削減も図れると期待しています。最初に話を聞いたときにすぐ、「本当にそんなことができるんですか？ だったらやりましょうよ」と喜んでくれました」またDirectAccess機能については、2009年末から2010年年頭にかけて吉本氏と、同社 営業一課 コーディネーター 主任である小林あかね氏がテストを実施。その結果「業務形態が変わってしまうほどの可能性を感じた」と2人声を揃える。「本当に簡単な操作でアクセスできて驚きました。人材紹介というのは、タイミングが重要ですから、リモートアクセスによってスピード化が図れるのは、とてもうれしいです」(小林氏)「テレワークという言葉も徐々に浸透していますし、このDirectAccessで、当社の業務形態まで大きく変わってしまいそうな可能性すら感じています」(吉本氏)



ソフトウェアとサービス

- Windows Server® 2008 R2 Datacenter- Hyper-V™
- Windows 7
- Microsoft® Forefront Client Security

メリット

- 仮想化によるサーバー運用コスト削減と拡張性の確保
- 社外作業を効率化するリモートアクセスの実現
- 個人情報保護を含む強固なセキュリティ機能の実現